

2025

5月号

May

Kyushu-kyoku times

九州教区だより

生活を聞法場に—真宗門徒として—

九州教区 宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要お待ち受け記念事業

ミュージカル「NINGEN 親鸞」上演終了

このたび、3月21日から22日にかけて、九州大谷短期大学大谷講堂を会場に、九州大谷短期大学制作のミュージカル「NINGEN 親鸞」が3回上演されました。

九州教区宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要お待ち受け記念事業として開催したこのたびの公演では、全3公演で合計約800名の方にご来場いただきました。一人の人間としての親鸞聖人の苦悩・ご生涯を描いた舞台に、劇場からは盛大な拍手が送られ、来場者からは「よかった」「感動した」等、多くの賞賛の声が寄せられました。

本ミュージカルは来年以降、九州教区慶讃記念事業として、2026年3月には鹿児島、2027年3月には長崎、2028年3月には大分にて公演を予定しています。詳細については、改めてご案内させていただきますので、感動の舞台を是非ともご観覧ください。



法然上人を演じる吉元学長

宗祖親鸞聖人
御誕生 850th
立教開宗 800th
真宗大谷派 九州教区

＜宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃テーマ＞

南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう

- | | | |
|-----------|-------|--------------------|
| [第1期法要] | 鹿児島別院 | 2026年3月5日(木)～8日(日) |
| [第2期法要] | 佐世保別院 | 2027年3月4日(木)～7日(日) |
| [第3期法要] | 四日市別院 | 2028年3月2日(木)～5日(日) |

「非核非戦」の願いを未来につなぐ 植樹式を開催

九州教区「原爆80年 非核非戦」事業の取り組みとして2025年4月2日、真宗本廟において、「非核非戦」の願いを未来につなぐ植樹式が行われました。

植樹式には、木越宗務総長をはじめ、長峯参務、古賀参務、山田参務、そして九州教区からは、草野教区会議長・松岡長崎組組長・田中非核非戦実行委員会委員長、信國九州教務所長、そして、九州教区からの奉仕団の方々を含めて約50名の方にご参加をいただきました。嘉代子桜は阿弥陀堂南側に、被爆樹木クスノキ2世は東本願寺前市民緑地「お東さん広場」に植樹されました。



2025年は原爆投下から80年という節目の年。被爆された方々が高齢化し、語り継ぐ方が少なくなっている今、被爆樹木の“声なき声”を聞き、世界唯一の原爆による被爆国として、原爆の悲惨さを未来永劫にわたり語り継いでいかねばなりません。

「嘉代子桜」

爆心地から500mの所の兵器工場の事務所として使われていた長崎市立城山小学校(旧城山国民学校)で亡くなった一人娘の嘉代子さんや同じ場所で命を落とした女学生たちのことを憶い、嘉代子さんのお母さんが娘さんの好きだった桜(ソメイヨシノ)の苗木を、城山小学校へ送り植樹したことから始まる。今では、長崎において平和のシンボルとなっている。



「被爆クスノキ2世」



爆心地から約800mに位置する山王神社の境内にある被爆クスノキの種を採取して育てられたもの。原爆によって黒焦げの太い幹だけとなったクスノキは枯れ木同然となったが、やがて樹勢を取り戻し、人々に生きる勇気と希望を与えた。そのような原爆の爆風や熱線を耐え抜き生きながらえた「被爆樹木」の多くは、原爆の地で痛々しい傷跡を残しながらも、今も静かに佇んでいる。



「九州教区 真宗本廟春の法要奉仕団」を開催

九州教区では、2026年春から教区慶讃法要を迎えるにあたり、そのお待ち受け事業として「九州教区 真宗本廟春の法要奉仕団」を募集しました。1泊2日での上山奉仕と親鸞聖人ゆかりの御旧跡巡りをする2泊3日の日程に、6名の方が参加しました。

1日目・2日目は、真宗本廟春の法要の日程である親鸞聖人御誕生会（音楽法要）や全戦没者追弔法要等に参拝しました。3日目の親鸞聖人御旧跡巡りでは、親鸞聖人の生まれた日野の地へ行き、法界寺と誕生院を巡りました。

参加者からは「初めて音楽法要にお参りでよかった」「親鸞聖人が手を合わされていたとされる法界寺の阿弥陀如来に自分も手を合わせることができて感動した」との声が寄せられました。

九州教区では、今後も様々な奉仕団に参加いただけるよう企画してまいります。



「2022年度版 真宗大谷派青少幼年教化指針に学ぶ研修会 in 九州教区」を開催



2025年3月10日（月）14時より、九州教務所を会場に「2022年度版真宗大谷派青少幼年教化指針に学ぶ研修会 in 九州教区〈願いと歩み そして出発へ〉」が青少幼年センターの主催にて開催され、22名の方が参加しました。

本研修会の開催にあたっては、九州教区教化委員会（青少幼年部門）も事前会議から参加し、共にこの研修会の企画から関わってきました。

講義では、青少幼年センター研究員の酒井義一氏（東京教区存明寺）と青少幼年センタースタッフの南枝尚美氏（山陽教区龍寶寺）のお二人に『2022年度 真宗大谷派青少幼年教化指針』をもとにお話をいただきました。また班別座談、全体会では参加者全員で意見交換を行いました。

このたびの研修会に参加された方々が、各々の場で、青少幼年教化の新たな歩み出しをされる機縁となりました。

教化事業等のご報告

「熊本地震追弔法要ー共に歩むー」を勤修

去る4月14日(月)、「東本願寺熊本会館」(熊本教務支所)を会場に「熊本地震追弔法要ー共に歩むー」が勤修され、約50名の方々がご参りされました。

東本願寺熊本会館2階の仏間(仮本堂)にて勤行、信國熊本会館教会主管者挨拶の後、熊本西組浄照寺門徒 吉本國勝氏からは、震災で倒壊した本堂の再興への道のりと思いをとお話いただき、また浄照寺鷲尾祐照住職からは、震災から見てきた人間の相と法灯伝授の願いについてお話いただきました。

感話終了後、2024年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」で被災された篠原敬氏(石川の珠洲焼、窯元遊戯窯代表)に、「復興とは元に戻すことではなく、新しいことに会うことではないか」と現地の復興作業からご自身が感じられたことをお話いただきました。

熊本地震から9年が経過し、これからの歩みを確かめる機縁となる法要となりました。



教化事業等のご案内

「九州教区 秋安居」開設

予告

教学の振興と自信教人信の誠を尽くす教師・僧侶を育成する大切な教区における聞法研鑽の場となることを願い、「九州教区 秋安居」を開設いたします。

本年度は、安居本講講者の草野顕之氏を佐世保の地にお招きし、「『口伝鈔』史考」を講題に氏が専門とする歴史的視点から覚如上人の教えの全体像についてご講義いただきます。

これまでの旧教区での教学振興の伝統を受け継ぎつつ、九州教区内の有縁の方々と共に学びを深める機会となるように進めてまいります。

つきましては、ぜひともご参加くださいますようご案内申し上げます。

期 間 2025年6月2日(月)～4日(水)

会 場 佐世保別院・九州教務所・各教務支所 [日豊・熊本・鹿児島]
※九州教務所・各教務支所はWEB配信

講 師 草野 顕之 氏 (真宗大谷派嗣講・大谷大学名誉教授)

講 題 『口伝鈔』史考 **参加費** 5,000円

対 象 ①九州教区内の寺院に所属する有教師 ②教務所長が許可した者

申 込 2025年5月19日(月)まで

その他 会場参加・WEB参加ともに「教師陞補対象研修会」となります。

2024年度 九州教区
秋安居

◆期 間 2025年6月2日(月)～4日(水)

◆会 場 佐世保別院 (高崎県佐世保市島崎町4-10)
【WEB配信会場】九州教務所・各教務支所【日豊・熊本・鹿児島】

◆講 師 草野 顕之 氏 (真宗大谷派嗣講・大谷大学名誉教授)

◆講 題 『口伝鈔』史考

◆受講料 5,000円 (前2日目の現金代は3割減額いたします)

◆対 象 ①九州教区内の寺院、教会に所属する有教師
②その他教務所長が許可した者

～受講申し込みについて～

①専用申込フォームにてお申し込み
※お電話から申し込みも可
②お電話にてお申し込み
※九州教務所 (0942-32-3056) までご連絡ください
◆申込締切日: 2025年5月19日(月)まで

※詳細・お申し込みは募集要項をご覧ください。

主催: 九州教区 教化委員会 育成局研修部門

詳細・申込は
こちら↓





「第4回門徒戸数調査結果の継続点検」を実施

去る3月18日(火)、九州教務所にて「九州教区門徒戸数調査委員会」が開催され、中央門徒戸数調査委員会からの依頼に基づき実施した「第4回門徒戸数調査結果の継続点検」の結果報告書が取りまとめられました。〔後日、中央門徒戸数調査委員会へ報告〕

このたびの継続点検では、2022年2月1日現在の届け出門徒戸数および門徒指数の再確認を行っていただきました。ご協力いただいた全寺院・教会・別院の皆さまに、心より御礼申し上げます。

なお、委員会では、社会構造の変化に伴う寺院と門徒の関係性の変容や、調査負担の課題が共有され、次回調査に向けた環境整備と調査手法の見直しを検討する必要性が確認されました。

また、引き続き開催された「九州教区御依頼審議委員会」において、継続点検で修正があった数値は、経常費・教区費の御依頼割当基準の要素として使用しないことが改めて確認されました。

所属僧侶のご逝去に伴う提出書類について

ご確認ください!!

本山においては、2025年7月1日現在にて、2025年度の賦課金伝票(宗派に僧籍を置く僧侶の区分に応じて課せられる僧侶賦課金等)が作成されます。

つきましては、所属僧侶のご逝去に伴う提出書類(死亡届)が未提出の場合は、下記期日までに九州教務所へ必ずご提出いただきますようお願いいたします。

なお、ご不明な点は、九州教務所(担当:常本)へお問い合わせください。

提出締切日:2025年6月6日(金)

2025年度当初の諸会議の予定について(予告)

2025年度当初の諸会議日程をお知らせします。関係される皆様におかれましては、予めご予約ください。

開催日	会議名
6月26日(木)	教区慶讃事業推進委員会
7月9日(水)	予算委員会・決算委員会・特別委員会
7月10日(木)	教区会参事会・教区門徒会常任委員会
7月24日(木)	教区会通常会
7月25日(金)	教区門徒会通常会
8月5日(火)	正副組長会



教務所からのお知らせ

九州教務所員が久留米消防署から感謝状を授与される

2024年12月、所員と同席し会食中であった男性(68歳)が心肺停止状態となったが、的確な救命処置を行い命を救ったとして、九州教務所員4名に久留米消防署から感謝状が贈呈されました。

これからも、九州教務所では所員の意識向上を図り、万が一の緊急事態の際に迅速かつ適切な対応ができるよう努めてまいります。



寺院相談室からのお知らせ

宇佐組 寶山寺の須弥壇の譲渡について

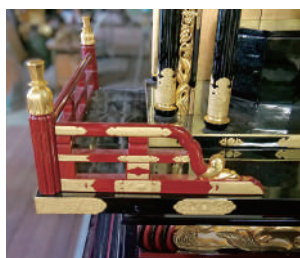
「九州教区だより」(4月号)にて既報のとおり、このたび解散に至った宇佐組寶山寺の須弥壇をご希望により譲渡いたします。ご覧になりたい方や詳細のお問合せは教務所までご連絡ください。

※なお、既に譲渡をご希望される寺院があり、譲渡済みの場合は悪しからずご了承ください。

連絡先:九州教務所 Tel0942-32-3056 (担当:西藤)

- 須弥壇寸法:幅161cm/奥行92.7cm/高さ256.5cm/框迄の高さ81.5cm
- 須弥壇柱内寸法:幅82cm/奥行40cm/高さ142cm(台座:高さ28cm)
- 須弥壇用下台:幅164.3cm/高さ13cm
- 前卓:幅118cm/奥行37cm/高さ71cm

※寸法は多少の誤差があります。



※二重屋根の上部が外され加工されています。

法務員募集寺院のご紹介

右記寺院において法務員を募集しています。詳細については九州教務所までお問い合わせください。

連絡先:九州教務所 Tel0942-32-3056
(担当:西藤)

組	寺院名	寺院所在地
豊前中津組	來迎寺	豊前市大字馬場
八女組	専勝寺	八女市黒木町
長崎組	妙行寺	長崎市相生町
長崎組	光永寺	長崎市桶屋町
長崎組	萬行寺	西彼杵郡時津町
長崎組	正法寺	大村市杭出津

敬 弔

ご生前のご功労を偲び、
謹んで哀悼の意を表します

2025年3月16日から4月15日まで

東 良昭 様（熊本西組 安養寺 住職）	4月2日寂 87歳
藤津 道子 様（大牟田三池組 光圓寺 前坊守）	4月7日寂 92歳
菊池 幸子 様（熊本中組 延隆寺 前坊守）	4月11日寂 95歳
廣瀬 海宗 様（三潞組 明正寺 住職）	4月12日寂 89歳



今月のコラム

さわり

「さわり(障り)」という言葉辞書で調べると、「物事の障害、差支え・支障・妨げ」など出てくる。私たちの日常生活の中では、自分にとって都合の悪い妨げとなる事柄は次々と起こってくる。それをいかに回避しようかと毎日悪戦苦闘しているのが私たちの日常ではないだろうか。そのような中でも最も避けたい「さわり」は、やはり「老・病・死」ということであろう。

雅楽の楽器で「笙」という楽器がある。この楽器は17本の竹から出来ている。息を吹き入れたところに、銅の合金で作られたリードという部分がある。この笙という楽器は、そのリードを震わせながら綺麗な音を出すのだ。笙の奏者は言う。「このリードという“障り”が、この笙の音色を豊かに、素敵にしてくれるのです」と。



それは、老・病・死という人生において最も避けたい「さわり」が、むしろ人生を豊かにして下さる大切な事柄なのではないのかと問いかけられているようだ。多くの人は、病気で入院した時、これまでの人生を振り返り、改めて、今後の人生を丁寧に生きようと心するものではないだろうか。…「さわり」が転じて人生に「恵み」をもたらすこととなるようだ。そのように、私にとって都合の悪いあらゆる“さわり”は、新たな人生のスタートの機縁となったり、私を育てて下さる大切なご縁となるのではないだろうか。

今月の法語

ゆかり
九州に縁の先師を憶う



われわれの生は、
われわれの記憶も届かない
深いところから来ている

武宮 礼一（法藏館発行：通いあういのち）

2025年5月・教区内行事予定表

日 付	時 間	内 容	会 場	講 師
11日(日)	20:00～	坊主BAR	After Dark	—
16日(金)	14:00～	住職再修習	九州教務所	中島 航
19日(月)	19:00～	第5回 福岡都市圏親鸞講座	仏事サポートセンター福岡	青木 玲
22日(木)～23日(金)		第3回 教化講習会	東本願寺熊本会館	—
26日(月)	13:00～	第4回 若僧なつどい	四日市別院	—
27日(火)	14:00～	住職再修習	九州教務所	山崎 隆弘
28日(水)	14:00～	定例法話会	仏事サポートセンター福岡	渋谷 行成
31日(土)	14:30～	第4回 仏教入門講座 in 鹿児島	鹿児島別院	中島 航

2025年5月・別院・大谷会館・長崎教会・東本願寺熊本会館・門司教会行事予定表

日 付	時 間	内 容	会 場	講 師
2日(金)	16:00～	親鸞聖人に学ぶ会	鹿児島別院	別院職員
7日(水)	13:00～	会館定例(熊本東組)	東本願寺熊本会館	保々 眞量
8日(木)	18:30～	聖典講座	大谷会館	青木 玲
9日(金)	10:00～	会館奉仕研修(八女組)	大谷会館	島 充
	14:00～	非核非戦定例法要	長崎教会	武宮 正晃
10日(土)～11日(日)	13:30～	門司教会永代経法要	門司教会	信國 眞一
13日(火)	13:00～	先住職御命日法座	佐世保別院	別院職員
	13:30～	第9回 定例聞法会	大谷会館	草野 萌、川崎 称期
15日(木)	14:00～	大谷会館声明学習会	大谷会館	大津山 義龍
17日(土)	8:00～	土曜定例	長崎教会	教務所員
	9:00～	長崎教会同朋の集い	長崎教会	—
19日(月)	13:30～	第5回 真宗基礎講座	大谷会館	鬼頭 武志
24日(土)	14:00～	第4回 真宗入門講座 in 熊本	東本願寺熊本会館	青木 玲
25日(日)	16:00～	歎異抄に聞く会	鹿児島別院	太田 智哉
28日(水)	7:00～	宗祖御命日晨朝兼日中・朝粥会	鹿児島別院	別院職員
	10:00～	四日市別院ご命日のつどい	四日市別院	別院職員
	13:00～	宗祖御命日定例法座	佐世保別院	別院職員
	13:30～	長崎教会御命日定例法座	長崎教会	教務所員
	14:00～	伊敷支院御命日同朋会	伊敷支院	大谷 直行

〒830-0038 福岡県久留米市西町540-1
TEL.0942-32-3056 FAX.0942-39-5077



真宗大谷派 九州教区

Shinshu Otani-ha Kyushu Kyoku

